



青原 美智恵 議員

真の働き方改革とは

町長

AIなどで環境整備する



職員の働き方は変わるか

【吉原】現役最年少市長が「働き方改革」に挑戦している四条畷市では、職員一人ひとりの生産性を高めることにより、市民サービスの向上をはかるための改革を行っている。

市では、働く職員の意識改革が最も大事であるとして成果を上げている。

本町での取り組みは。

【町長】人口減少などの課題解決に向け、職員が能力を発揮できる環境をつくることを考える。職員が創意工夫

によって新たな課題に向き合えるよう、AIなどを取り入れ業務を行っている。

【吉原】市では、非正規職員から部長級まで参加する「働き方プロジェクトチーム」を立ち上げ、チームワーク

やコミュニケーションを大切にし、その人にかかわらない業務の解消と課内の情報共有で残業が減り、成果を上げている。

研究してみても。【町長】本町の取り組みを進めていく。

【吉原】自主組織間で差があり、そのうえ住民全体のものになっていく。【町長】今年中に10地区すべてで自主組織が設立される。集落支援員の配置と、補助金で財政支援をする。

自主組織は、町の業務を一方的に担う下請け的な役割ではなく、地域課題や住民ニーズの解決策を考える団体だと考えている。



まちづくりの拠点

地域自主組織の協働のまちづくりは

地域課題の解決を支援する

町長

【吉原】地域自主組織の取り組みは行政主導でなく、住民参加によるまちづくり活動と認識している。それぞれの活動や成熟度に差があるなか、どのように協働したまちづくりをめざすのか。

いないのではないかと。また、イベントや地域貢献など、役員中心でやっている。ボランティア疲れも懸念される。

【町長】事業委託したからといって活性化するとはいえない。配されるが、モチベーションアップや後継者づくりのためにも、事業委託も必要では。